

マルバアサクサノリ

Porphyra kuniedae Kurogi

ウシケノリ目 ウシケノリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

選定理由

珠洲市狼煙海岸でしか採集されていない。飯田湾から七尾湾にかけての内湾域での生育が期待されるが、この地域でのアマノリ属海藻の調査は不十分である。しかし、全国的に本種の野生種の発見は限られており、本県での生育数も微々たるものと考えられる。

形態

体は卵形、円形、半円形。高さ5～10cm、幅4～15cm。縁辺は全縁、雌雄同株、雌雄の部分は体の縁辺部に混じって生じる。精子嚢斑は体上部では体の内側に向かって縦に伸びる縞状となる。

国内分布

自然分布は本州太平洋岸北部、古くは養殖対象種で、瀬戸内海と有明海で採集されたことがある。

県内分布

珠洲市狼煙。

生態

河口域とそれに隣接する内湾域の潮間帯に生育する。

生育地の条件

河口域とそれに隣接する内湾域。

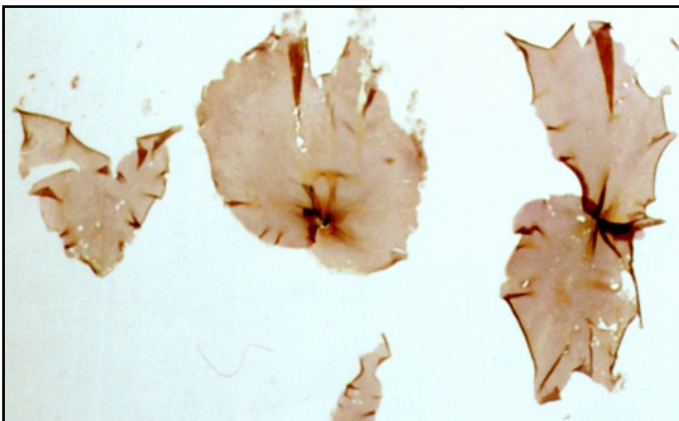
生存の危機

糸状体の時期は貝殻片の中で過ごす、その上に泥が堆積すると光合成ができなくなる。河川上流での森林伐採やダム建設などに伴って、河口域に泥の堆積が進むと次第に衰退する（三浦，1998）。

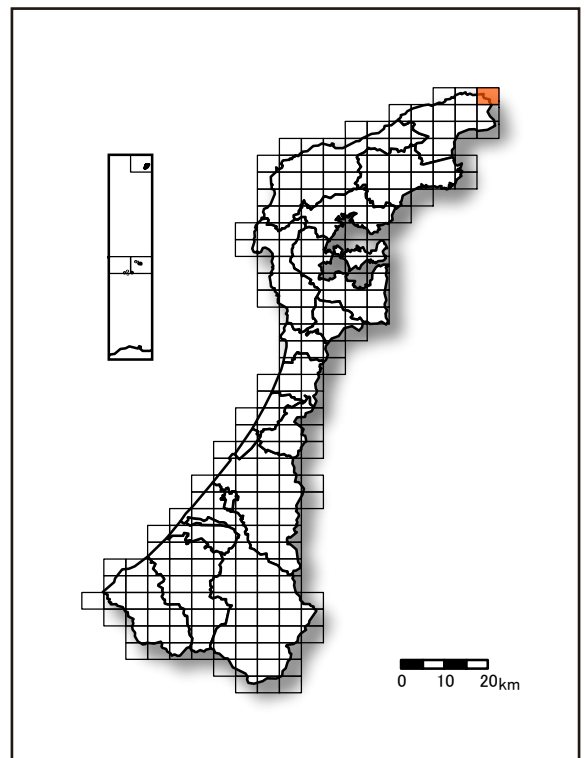
(A)

参考文献

佐野 修. 1984. 冬の味覚—岩ノリ—. 能登の自然, 110-111. 石川自然誌研究会, 金沢
 三浦昭雄. 1998. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック（水産庁編）. 306-307. 日本水産資源保護協会, 東京



写真提供者：佐野修



県内の分布